

2006年度 かわごえ環境ネット

第2回 自然環境部会 内容報告

開催日時：2006年5月12日(金)15:00～17:00

開催場所：川越市役所 7階 7G会議室

参加者数：会員12名 事務局1名

参加者名：大辻、平田、泉山（EMネットワーク）、原嶋（EMネットワーク小畔）、
賀登、菅野、大室（川越モラロジー）、安藤、市川、小瀬（東洋大学）
横山（生活クラブ生協）、 ゲスト 鈴木（荒川流域ネットワーク）
松本、渡邊（事務局）

[順不同、敬称略]

配布資料

2-1：残された自然の保全と再生グループ（賀登 1枚）

2-2：水辺の自然の保全と再生グループ（大辻 3枚）

2-3：荒川流域一斉水質調査（小瀬 1枚）

報告

●残された自然の保全グループ [資料2-1]

グループ名の変更 残された平地林の保全グループ（総会から使用）

○（仮）川越森林公園予定地

・自然観察会 埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部共催

5月27日(土) 9:30～12:00 集合 ジョイフル 詳細はチラシ

7月23日・10月22日・1月28日（すべて日曜）

・植物調査 毎月第2火曜日（9:30から）実施（雨天中止）

5月9日（火）自主参加で調査を行った。6名参加。稀少種などを地図に書き込む。

○くぬぎ山

所沢、狭山と合意して全体の呼びかけ、活動していく。

●水辺の自然の保全と再生グループ

○仙波河岸史跡公園 [資料2-2]

防犯対策としての植生管理見直し アズマネザサの刈り込み

水の確保が重要課題で、井戸の掘削が望まれる。

観察会調査をまとめて報告書を作成する。

○（仮）霞湧水路の防護柵について

子どもの安全への配慮から防護柵が設置される。市に自然景観重視を申し入れする。

○菅間緑地（菅間ビオトープ）の紹介

絶滅危惧種のムサシトミヨ、ミヤコタナゴの復活活動の候補地として有力。公園整備課が管理している。整備課に交渉して、公園管理作業の際に見学会の開催を申し入れする。後日提案。

○新聞記事（5月9日の読売）から

ホテルの復活をめざしている川越市内のネット会員と提携して、仙波河岸史跡公園に生息出来る環境を作りたいなどが話された。

議題

○自然環境部会事業計画(案)

総会資料の確認。ミドリシジミノの確認は平日の夕方に有志で開催予定。

○荒川流域ネットワーク「荒川流域一斉水質調査」[資料2-3]

荒川流域ネットワーク理事（つるがしま環境ネットワーク代表）の鈴木氏より一斉調査の経過について話を聞く。6月4日（日）の実施方法についての話し合いを5月29日（月）17:00より3Aにて行う。6名参加予定。

○「エコライフ DAY2006・埼玉」の参加について

6月11日（日）調査実施日参加協力 通信物に同封する。

■次回の自然環境部会のお知らせ

2006年度 第3回6月9日（金）15:00～ 市役所室 7階 7G会議室

第4回7月14日（金）15:00～ 市役所

■お問い合わせはこちらまで

事務局：川越市環境部環境政策課内 TEL224-8811 [内線 2612]

E-mail：kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

ホームページ：<http://kawagoekankyo.net>